



12/20 「ごめんありがとう座談会」を開催しました!

連続テレビ小説「あんぱん」で盛り上がった2025年の締めくくりに、やなせスタジオ代表取締役の越尾正子さん、司会に後免町出身の声優・伊吹文さんを迎えて、やなせたかし先生と妻・暢さんの人生や作品、そして先生が育った後免町との深い関わりを紹介する座談会を開催しました。



初めに、越尾さんが長年そばで支えてこられた立場から、やなせ先生ご夫妻の暮らしぶりや、著書『やなせたかし先生のしつぽ』に込めた思いについて語されました。連続テレビ小説「あんぱん」には描かれなかった叔父・正周さんのことや、お酒を飲まないやなせ先生に対し暢さんはビール好きで家には常に瓶ビールがストックされていたこと、やなせ先生と越尾さんの失敗談、そしてそのピンチを工夫で乗り越えたエピソードなどが紹介され、改めてご夫妻の魅力に触れる時間となりました。

暢さんの思いを受け継ぎながら、やなせ先生を支え続けてきた越尾さん。三人の出会いが偶然ではなく、必然だったことを感じさせる内容でした。

「ドラマは史実? フィクション? ○×クイズ」では、御免与町でのエピソードを中心に、全8問のクイズが出題されました。全問正解者はたった4名という難易度の高いクイズに、会場は笑いと驚きに包まれ楽しみながら理解を深める企画となりました。

そのクイズを1問だけご紹介します。皆さん分かれますか?

Q ドラマでは、小学生時代、母・登美子に会いに来ないよう言われていた嵩ですが、やなせ先生も実の母に会いたくても会えなかった? ○か×か?



正解は× 休みの日に会いに行っていました
母子関係はドラマと違っていたようですね



最後に「やなせ先生とごめん町」をテーマに、ハガキでごめんなさい実行委員会の委員長・西村さん、副委員長・徳久さんも登壇。やなせ先生とともに取り組んできたまちづくりの思い出や、「ハガキでごめんなさい」事業に込めた思いが語られました。人を喜ばせることを大切にしたやなせ先生の精神が、地域の取り組みとして今も受け継がれていることが伝わる内容でした。

来場者からは「○×クイズが難しかった!」「ドラマで描かれなかったご夫妻の素顔が知れて楽しかった。まだまだ聞きたい!」といった声が聞かれました。今後も「やなせたかしが育ったまち」として、やなせ先生が遺された作品や思いを大切にしながら、地域の魅力発信に取り組んでいきます。

ものべすとサンクスディ ～やなせさんのキャラクターといっしょに楽しもう!～

連続テレビ小説「あんぱん」の放送をきっかけにスタートした、ものべがわエリア観光博「ものべすと」も、いよいよフィナーレを迎えます。観光博期間中、多くの観光客の皆さまが物部川エリアを訪ね、「ものべ」の「ベスト」を体験し、楽しんでいただきました。お客様、地域の皆さま、やなせ先生への感謝の気持ちを込めて、サンクスイベントを開催します。

当日は、やなせ先生が生み出した、県内外のさまざまなキャラクターたちが登場します。特産品の販売やグルメの出店をはじめ、キャラクターによるダンスや歌など、楽しいステージも予定しています。笑顔いっぱいの特別な一日を、ぜひ一緒に楽しめましょう!

■日時／2月8日(日) 10:00～15:00

■場所／セレネ前広場（やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム北側）

■問い合わせ／物部川エリアでの観光博覧会実行委員会

事務局 物部川 DMO 協議会 ☎ 088-802-5050



「誰か」のことじゃない

アンコンシャス・バイアスってなんだろう?



私たちは、何かを見たり感じたりしたときに、過去に経験したことや見聞きしたことにより影響を受けて、「無意識に“こうだ”と思い込むこと」があります。この「無意識の思い込み」がアンコンシャス・バイアスです。過去の経験や知識などから生まれるため、自分自身では意識しづらく、知らず知らずのうちに発言や態度によって、誰かを傷つけてしまうことがあります。



アンコンシャス・バイアスをチェックしてみよう!

あなたの「思い込み」を日常のシーンごとに確認してみましょう。「そのとおり」と思う項目について、チェックしてみてください。

- 女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い
- 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ
- デートや食事のお金は男性が負担すべきだ
- 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない
- 組織のリーダーは男性の方が向いている
- 受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ
- 女性は感情的になりやすい
- 女性は論理的に考えられない
- 男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない



いくつチェックがつきましたか?

「男だから力持ち」「女だから料理ができる」「男が泣くな」「女は甘いお菓子が好き」など、無意識に言葉にしていないでしょうか。「普通はこうだろう」と思う中に「決めつけ」や「押し付け」がないか、自身の言動を振り返り、自分に問いかけることが大切です。チェックのついた項目について、少しだけ立ち止まって考えてみてください。

今すぐできる!アンコンシャス・バイアスを減らす3つのポイント

①「べき」「普通は…」に注意



「べきだ」といった押し付けの言葉や「普通は…」といった決めつけの言葉が出たら、その理由を立ち止まって考えてみましょう。

②相手の「サイン」を見逃さない



家族や友人同僚との会話中、急に相手の表情が曇ったり声のトーンが変わったりしたことはありませんか？自身の言動で相手が傷ついていないか振り返ってみてください。

③常に自分に問いかける



無意識の思い込みを完全に払拭するのは難しいからこそ、常に自身の言動を振り返り、問いかけることが大切です。違和感のあったことをメモして意識してみましょう。

出典：政府広報オンライン「誰にでもあります無意識の思い込み “アンコンシャス・バイアス”」

■問い合わせ／総務課じんけん係 ☎ 088-880-6583

